

— つながる — 2022年2月

(69号)

つつじが丘シニアクラブ

家の固定電話のベルの音。

「ハイッ、モシモシ・・・」といつも通りに元気に応対した・・・
つもりでしたが、声がかすれて、全く出ません。えっ？あれ？あれ・・・
声が！大あわて、です。

筆者は一人暮らしではありませんが、パートナーとそうそういつも
楽しい会話が弾む訳もないし、気がつくと一日中ほぼ誰とも話してい
ません。考えてみると、ここ何日も人と喋っていません。コロナ禍で
地域のサークルも休止中です。近所の人との立ち話もめっきり減って
います。知人との要件はスマホのラインかメールで事足ります。

なるほど、声帯って、使わないとこうなるのですか。話では人ごと
に聞いていましたが、まさか、こんなに早く我が身にも。そう言えば、
最近は何となく食べこぼしも多いし、お茶にもむせてしまうし、食
べ物は引っかかるし。声を出す訓練は大事ですね。

明日の朝から発声練習をします、多分。意志が割と弱い方でして。
いや、一緒にしましょう。日課にしましょう。

1月4日、数字のごろ合わせで石の日だそうです。

この日にトーホー前の市民花壇に7つ8つの石を置きました。

石に絵を描いてくれたのは若い人です。そして大きな形のいい石は、
鷺尾好弘さん（故人）が昔子どもたちと川遊びに行った時に集められ
たものです。10年前、学生だった彼女と老人会役員の鷺尾さんは、
仲良しでした。偶然、上穂公園の輪投げがきっかけで。

今回、絵を描く前に石と対話して、短い間の温かい交流に感謝し、
今の自分の悩みを語りつつの作業だったとか。

誰かと誰かが、何処かでゆるくつながっていて、苦しい時寂しい時
に声をかけあえたり、悩んだ時に思い出す人がいてくれたりしたら、
どんなに幸せでしょうか。

「つながる」は来月で70号になります。

これからもよろしくお願いします。